

令和7年度 小金井第三小学校 第2回学校運営協議会 記録

<日時>令和7年5月24日(土) 午前11時25分から午後0時25分まで

<会場>家庭科室

出席者: 12名中12名参加(委員の過半数以上の出席により本会成立)

1 開会の言葉および校長挨拶

○本日はお忙しい中、多数の参加をいただきありがたい。今日は道徳授業地区公開講座と学校公開を実施したが、参観をいただいた中でのご意見・ご感想をご忌憚なく伝えてもらいたい。

2 教務・生活指導より(生活指導主任より)

○昨年度の全国学力調査について

国語・算数ともに全国・都の平均正答率をほぼ全ての項目で上回っている。国語では言語の知識・理解の力は高いが、文章の構成を捉えることが課題である。算数では立式の根拠となる数量関係を読み取ることが課題である。

○生活指導について

昨年度のいじめの報告件数、実態と対応策、保健室来室状況についての報告

3 公開授業及び道徳授業地区公開講座について

○中学年でコミュニケーションの基礎を教えていたのがよかった。コミュニケーション能力が無ければどんな力があっても認められない。コミュニケーション能力を学校で育ててくれるのはありがたい。

○低学年は具体的な動作・操作を重視していることが伝わった。3年生では「聞き方名人」という名前で話を聴く姿勢を教えていることがとてもよかった。

○廊下に人権を尊重する掲示物があり、こうした取り組みは全校で行ってもらいたい。いじめは自尊感情の低下が原因だと思うので、自尊感情を子供がもてるよう、温かな声掛けをお願いしたい。

○どのクラスもめあてを意識させて指導していた。4年生の掲示「思いやりのデザイン」がよかった。

○1年生と2年生では様子が全然違って2年生は落ち着いて学習していた。1年間の積み上げはやはり大きいように感じる。コロナ禍は落ち着いたが、グループワークはあまり行われていないように感じた。子供同士の交流は3小のよいところなので、コロナ以前のように戻ることを期待している。

○道徳はねらいはしっかりあるが、答えを必ず導き出すような授業にはしてほしい。夢を叶えられる人ばかりではない。ねらいから外れても考えさせたいことはある。

○クラス間での指導に差があるように感じた。道徳は教え込みではなく、フリーな話し合いから気付かせるようにしてもらいたい。また、ICTを活用し、子供の集中を切らさないようにしてもらいたい。生活指導主任の報告にもあったが、単語は知っていても実際には理解はしていないことが感じられた。親が教えすぎて自分で考えることができていないのでは。生活に根差した経験をもたせる必要がある。

○新しく三小に来られた先生方が見られてよかった。まだ緊張している様子が見られるので学校全体で支えてあげてもらいたい。

○6年生の道徳の授業は道徳授業地区公開講座の講師の話とリンクさせた内容になっていてよかった。同じ内容でも展開はクラスごとに異なり、どの先生も子供たちの意見の吸い上げが上手だった。教育の結果はすぐには出ない。心を育てる教育を受けた子供たちがどのように育っていくのが楽しみだ。

4 事務連絡

5 閉会の言葉(副校長)